



新年度の挨拶

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長 内山 量史
(春日居サイバーナイフ・リハビリ病院)

この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和4年5月20日(金)に開催された定時社員総会は、一昨年、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会場出席者は最少人数とし、会員へは書面での意思表示での参加とさせていただきました。当日は109名の会員が参加され、滞りなく総会を開催することができました。また、理事会より提案をさせていただいた全ての議案に対して承認をいただき感謝申し上げます。

昨年度はコロナ禍でありながらも学術活動、人材育成活動、広報活動、職能活動、それに山梨県リハビリテーション専門職団体協議会、ケアマネ協会と3士会で組織される「やまなし地域リハケアの推進を考える会」の活動など多くの事業をオンラインで展開し、多くの会員が参加されたこと感謝申し上げます。令和2年度より山梨県から委託されて始まった山梨県失語症者向け意思疎通支援事業も支援者の養成は順調に進んでおり、23名が支援者として県に登録されています。

今年度からは失語症の方の外出などに支援者が同行する派遣事業が始まります。市町の地域生活支援事業として派遣事業の予算化が決定している10以上の市町との契約が進んでいる状況です。今後は多くの市町で派遣事業が展開され、失語症の方の地域での生活のしづらさの解消や社会活動への参加が促進されることが期待されます。また、本事業の広報活動を通じて県民に失語症の正しい理解に繋がる機会ができた点も大きな成果だと思えます。

当会は会員皆で手作りの会、職場、年齢に関係なく意見や会話が出来る顔の見える会として運営してきました。このコロナで会員相互の交流や連携は難しいですが、言語聴覚士はコミュニケーションを大事にする職種です。このような状況においても最適なコミュニケーション方法を模索しながら今年度も前を向いて進んでいきましょう。この状況がいつかは好転し、皆さんと対面でお会いできる日が来ることを祈念いたします。その時にはさらに成長し、たくましくなった職能団体として活動をできる日を楽しみにしています。

障害を負ってもその後の人生の質を高めようと大切な時間を言語聴覚士と歩んでくれた対象者がいることを忘れず、どのような状況であっても対象者のニーズにあった言語聴覚療法を提供し、対象者の心に寄り添える言語聴覚士の育成に今年度も力を注いでいきたいと思えます。今後とも県士会活動にご理解をいただき、積極的な参加をお願い申し上げます。

会員をはじめ皆様のご健康を心より祈念いたします。



- 《目次》 P1…新年度の挨拶 P2…令和4年度新役員体制紹介/総会報告
P3…新卒者研修会皆勤賞/ちょっとした話 P4…令和4年診療報酬改定について
P5…山梨県リハビリテーション支援センターについて
P6・7…新入会員紹介 P8…ミニ講座 P9…理事会報告
P10…各局よりお知らせ P11…会員施設一覧

令和4年度社員総会報告・新役員体制紹介

春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 河西 祐子

令和4年度社員総会は、5月20日（金）午後7時より湯村温泉病院3階多目的ホールで開かれました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員には事前の議決権行使を推奨し、昨年度に引き続き最少人数での開催となりました。事業年度終了時の社員数129名に対し、出席者は会場出席9名、委任状提出52名、書面表決書提出48名の計109名であり、定足数を満たしたため総会は有効に成立しました。

議長には廣瀬李菜氏が選出され、令和3年度の事業報告・収支決算報告、監査報告、定款の一部変更、令和4・5年度役員承認、令和4年度の事業計画案・収支予算案、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会に関する件の8議案について審議しました。すべての議案が賛成多数で可決され、午後7時45分に閉会となりました。

また、総会終了後には理事会が開催され、代表理事（会長）・副会長をはじめ、各局・委員会の役員が決定し、新年度の活動がスタートしました。

<役員紹介>

会長（代表理事）

：内山量史

副会長

：赤池三紀子

：赤池 洋

：中村晴江

：河西祐子

：佐々木蘭子

：元木雄一郎

：石垣亮太

：赤池 洋

：吉澤由香

：高橋正和

：桂川謙祐

事務局 局長（総務部兼務）

財務部 部長

学術局 局長（生涯研修部兼務）

教育部 部長

社会局 局長

渉外部 部長

広報部 部長

会報編集・HP管理部 部長

失語症友の会「ふじやま」運営委員会

失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会

災害対策支援委員会

山梨県訪問リハビリテーション委員会

地域支援事業等推進委員会

特別支援教育委員会

認知症対策推進委員会

第14回学術大会実行委員会

失語症全国大会 in やまなし実行委員会

委員長：舟越あゆみ

委員長：赤池三紀子

委員長：内山量史

委員長：市川奈弥

委員長：舟越あゆみ

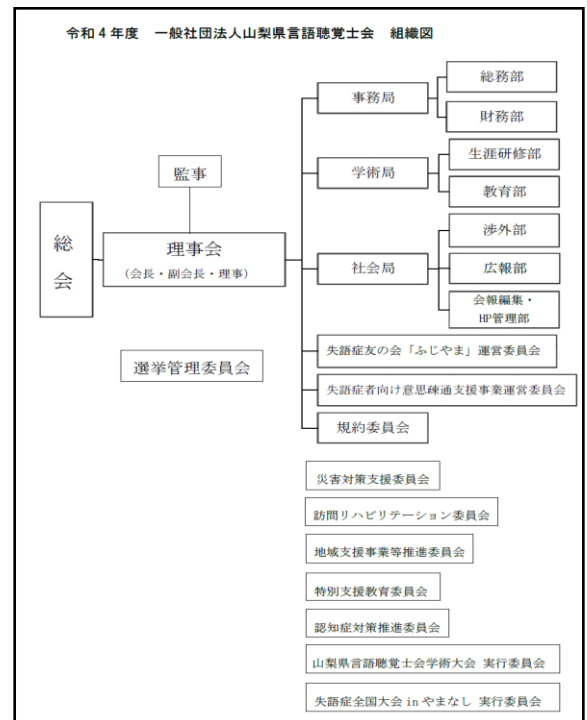
委員長：市川奈弥

委員長：山田 徹

大会長：元木雄一郎

実行委員長：吉澤由香

実行委員長：内山量史



<会場の様子>

ちょっといい話 vol.16 「透明マスク」

甲府城南病院 桂川 謙祐

この2年余りの間に“コロナ”という言葉は、誰しもが知る言葉となり、マスクを着用することは当たり前になりました。マスク着用で感染拡大しないよう努めることは、大切だと思いますが、それによって困っている人がいることにも目を向けなくてはいけないと思います。言語聴覚療法の対象者でもある聴覚障害者は、読話という口元の動きから話し手のメッセージを読み取ったりすることがあります。そのため、相手がマスクをしていることによって、話している内容がよくわからなくて困るようです。また、新生児をはじめとした幼い子供たちは、マスクを着用していると相手の目元しか見えず、表情がうまく読み取れなくなるそうです。「目は口ほどにものをいう」という言葉は、大人だけに通用するのであって、子供の発達には顔全体が見えることが大切になるのだと思いました。



私の勤務先の患者さん方もマスクの影響を受けている方々が多くいらっしゃり、病院で「透明マスク」というものを導入してみました。装着した感じは、マスクよりも言葉がこもった印象になりますが、話した時の口元の動きや、目元だけでなく顔全体がみえるようになりました。現在、発語失行の訓練や、難聴があるために口元を見せると意思疎通が円滑に行えるようになる方に、透明マスクを着用するようにしています。ある日、ご高齢で両側耳掛け型の補聴器をしていらっしゃった患者さんに、マスクについて尋ねると、「よく聞こえなくて、困るね」とのことでした。すかさず、透明マスクを着用してみると、「先生、これ最高ですね。本当に天才的な発明！（私が発明したわけではないのですが…）」と、お世辞かもしれませんが随分喜んでくださいました。マスクで困っている方を見かけた際には、是非透明マスクを検討してみてください。

新 卒 者 研 修 会 皆 勤 賞

皆勤賞受賞者

甲州リハビリテーション病院

森田 夏海 先生

山梨リハビリテーション病院

飯沼 直美 先生

甲府城南病院

小笠原 健吾 先生

小室 良 先生

草田 菜絵 先生

山梨県立中央病院

依田 華 先生

笛吹中央病院

尾形 聖子 先生

恵信甲府病院

堀内 璃々子 先生

「新卒者研修参加者代表記」

山梨リハビリテーション病院 飯沼 直美

令和3年度の新卒者研修会に参加させていただきました。今年度もコロナウイルスの流行により、新卒者研修会はZoomを使用したリモート開催となりました。他の病院の先生方と実際に実技を行ったり、話し合ったりすることができなかったのは残念でしたが、毎回の講義はわかりやすく、学びの深いものでした。講義内容は、言語聴覚士の職務と役割、認知症、構音障害、高次脳機能障害、コミュニケーション、失語症、SLTAの評価、摂食嚥下障害と幅広く、動画を用いながら評価・実技を行うこともありました。日々、患者様が改善していく姿に喜びを感じていますが、同時に自分の力量不足に悩むことも多いです。まだまだ未熟で、臨床についても疑問点が多い中、毎回新卒者研修会で先生方からご教授いただけることは貴重な機会でした。ご多忙の中、ご指導して下さった先生方、ありがとうございました。この研修内容を活かして、患者様から信頼のおける言語聴覚士になるために、また質の高いリハビリを行うために、今後も自己研鑽に励みたいと思います。



令和 4 年度診療報酬改定について

今回の診療報酬改定は、全体は 0.43% のプラス改定、薬価はマイナス改定となりました。そんな中、看護の処遇改善のための特例措置としての 0.2% のプラス改定は注目を集めました。また、ICT を活用したカンファレンスの解禁や入退院支援加算の中にヤングケアラーが追加されるなど、コロナ感染症対策や少子高齢化対策といった現在の社会情勢を反映したような改定もありました。今回の改定の中で、我々言語聴覚士（以下 ST）にとって関係の深い内容を中心に以下 6 点を紹介します。

1. 早期離床・リハビリテーション加算の見直し

入室後早期から離床等に必要な治療を行った場合に算定できるこの加算では、これまでは厳密な特定集中治療室（いわゆる診療報酬上の ICU）のみに限られていましたが、救命救急入院料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料および小児特定集中治療室管理料を算定する治療室についても対象に加えられました。また、これに関わる職種として **ST** が追加されました。

2. 回復期リハビリテーション病棟入院料の評価体系及び要件の見直し

回復期リハビリテーション病棟入院料（以下、回リハ入院料）5 を廃止し 現行の回リハ入院料 6 を新たな回リハ入院料 5 として位置づけることとなりました。また、重症患者の割についても、回リハ入院料 1 及び 2 は 4 割以上 回リハ入院料 3 及び 4 は 3 割以上に変更されました。更に、回リハ入院料 1 または 3 については 公益財団法人日本医療機能評価機構等による 第三者の評価を受けていることが望ましい とされました。

3. 回復期リハビリテーションを要する状態の見直し

回リハ入院料の対象患者に「急性心筋梗塞、狭心症の発作、その他急性発症した心大血管疾患の発症後または手術後の状態」が追加され、算定日数上限は 90 日とされました。

4. 摂食嚥下支援加算の見直し

中心静脈栄養や鼻腔栄養等を実施している患者の経口摂取回復に係る効果的な取組を推進する摂食嚥下支援加算について、名称が 摂食嚥下機能回復体制加算 に変更されました。また、新たに 3 段階の実績要件が設けられました。要件の中のひとつである、週 1 回のカンファレンスにおける参加職種の必須条件は、摂食嚥下障害を有する患者の看護に従事した経験が 5 年以上有り、適切な研修（摂食嚥下障害看護または脳卒中看護の認定看護教育課程）を修了した専任の常勤看護師、または専従の ST とされました。

5. 疾患別リハビリテーション料の見直し

疾患別リハビリテーション料における標準的算定日数を超えてリハビリテーションを行う場合において、月に 1 回以上機能的自立度評価法（FIM）を測定していることが要件化されました。

6. リハビリテーション実施計画書の署名欄の取扱いの見直し

リハビリテーション実施計画書及びリハビリテーション総合実施計画書については、疾患別リハビリテーションを初めて実施する場合を除き、計画書に患者の署名が困難、かつ、遠方に居住している等の理由により患者家族の署名が困難である場合、家族等に計画書の内容等を説明した上で、同意を得た旨を診療録に記載することにより、患者又はその家族等の署名を求めなくても差し支えないこととなりました。

その他「特定機能病院においてリハビリテーションを担う病棟の評価の新設」「療養病棟入院基本料に係る経過措置の見直し」「地域包括ケア病棟入院料の評価体系の見直し及び地域包括ケア病棟入院料の見直し」などが改定されています。ご興味のある方は、是非厚生労働省ホームページより資料ご参照ください。

（文責：甲府城南病院 桂川 謙祐）

山梨県リハビリテーション支援センターについて

副センター長 理学療法士 磯野 賢

山梨県リハビリテーション支援センター（以下県リハ支援センター）は、2004年県内に1カ所設置、運営されてきました。また同時に地域リハビリテーション広域支援センターが各圏域に1カ所、計4カ所設置され、約30年間この二つのセンター体制で県の地域リハビリテーションが推進されてきました。

2021年県は、山梨県における地域リハビリテーション支援体制を見直し、県リハ支援センターの公募・指定（甲州リハビリテーション病院が受託）と合わせて、地域リハビリテーション広域支援センターを廃止し、協力機関による市町村支援体制（図1）の構築を図ることとしました。また、県リハ支援センターの事業内容も、2021年3年5月17日に厚生労働省老健局老人保健課から発出された「地域リハビリテーション推進のための指針」の改定を受け見直され、以下の4点となりました。



① 市町村及び協力機関に対する支援

ア 困難な事例に対する助言

イ 圏域を超えて専門職等を派遣（POSバンク）

ウ 協力機関に対し、効果的な連携方策に関する助言等を行うこと

＊協力機関：市町村との契約等に基づき専門職を派遣する機関（病院・施設等）

② 地域リハビリテーションに従事する専門職等の人材育成

専門職等を対象に地域リハビリテーション推進に関する研修会を開催

③ 関係団体等との連絡会の開催

地域リハビリテーションに関わる団体等が参画する連絡会を開催、ネットワークの構築

④ 災害リハビリテーション体制の整備、調整

現在、各市町村担当者には、この新しい地域リハビリテーション支援体制と県リハ支援センターの役割の周知を図り、市町村では、協力機関の確保に向けて動き出しているところです。皆さんには、所属する機関では、協力機関となっただき、個人としてはバンクに登録いただき、自分が住む町・働く町での支援をお願いします。新しい支援体制はまだ構築に向けた動きを始めたばかりで、地域で連携し、機能し地域リハビリテーションを推進していくためには、協力機関、そこで働く皆さんの活躍が必要です。更なるご協力をお願いします。

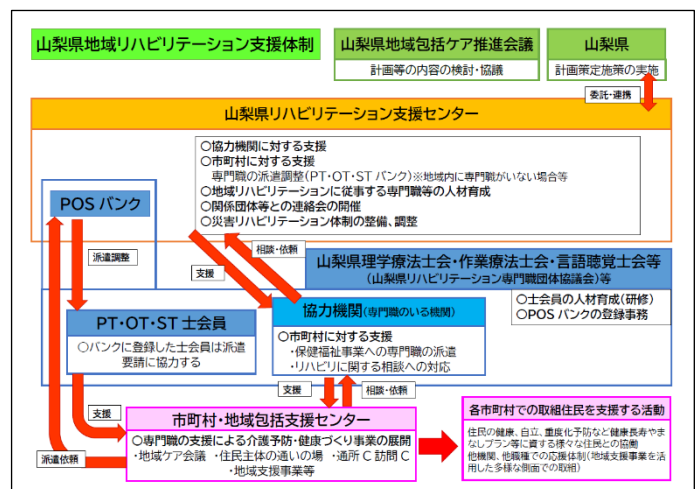


図1：山梨県の地域リハビリテーションの支援体制



令和4年度 山梨県言語聴覚士会 新入会員紹介



春日居サイバーナイフ・
リハビリ病院
言語聴覚療法科

つかもと なおき
塚本直輝

出身は茨城県龍ケ崎市、特技は家庭料理です。目白大学を卒業し、4月より春日居サイバーナイフ・リハビリ病院に入職いたしました。様々な面で未熟であることを痛感し、先輩方や患者様から多くの事を日々学ばせていただいています。一日でも早く戦力となれるよう努め、信頼され頼られる言語聴覚士を目指します。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



恵信甲府病院
リハビリテーション部

はまさき のゆき
濱崎野如

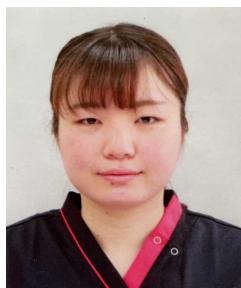
高知県出身で、就職で初めて山梨県に来ました。初めて来たときに人柄や喋りかた、土地の雰囲気も高知県と全然違っていて何もかも新鮮でした。趣味は寝ることと食べること、旅行です。山梨県の特産品など美味しいものを沢山食べたいです。今は情勢上県外に行くのは難しいですが、落ち着いたら色んなところを回ってみたいです。山梨県には来たばかりで土地勘もなく不安なことが多いですが、早くなじみ仕事に慣れて皆さんと一緒に頑張っていきたいです。



恵信梨北リハビリ病院
リハビリテーション科

ひらさわ てるひこ
平澤輝彦

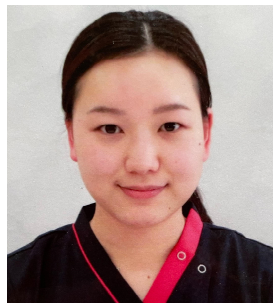
出身地は茨城県で、山梨県に住むのは初めてなのですが、地元と雰囲気が似ておりどこか安心感を覚えています。趣味はウォーキングやゲームをすることで、休日に特に目的を決めることなく歩いたりして山梨県の魅力を発見しながら充実した日々を過ごしております。先輩方や患者さんから色々と学び、勉強しながらの毎日を送っています。まだまだ知識不足で至らないことが多いですが、患者さんに寄り添える言語聴覚士になれるよう、一生懸命に頑張っていきます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



甲州リハビリテーション病院
リハビリテーション部

かさい なつき
河西夏希

多摩リハビリテーション学院専門学校を卒業し、出身である山梨県で働きたいと思い、甲州リハビリテーション病院に入職致しました。患者様のニーズやホープに寄り添い、その人らしい人生が取り戻せるようなリハビリテーションが出来るように励んでいきたいと思っています。興味のある分野はディサースリアですが、幅広い分野で知識を養っていきたくて考えています。将来は訪問リハビリテーションに興味があり、在宅に寄り添った支援が出来るように経験や知識を身につけていきます。よろしくお願い致します。



甲州リハビリテーション病院
リハビリテーション部

どい みさき
土井未沙貴

大阪府大阪市出身です。国際医療福祉大学を卒業後、栃木県矢板市の病院で働いていました。縁があって今年の3月末から山梨県に来ました。自然が豊かで、どこからでも富士山が見えることにいつも感動しています。シャインマスカットが大好きなので新鮮なシャインマスカットを食べるのが楽しみです。今年で4年目になりますが、新しい環境でまた一から頑張りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



甲州リハビリテーション病院
リハビリテーション部

やまもと だいき
山本大暁

神奈川県横浜市出身です。前職との関係で、失語症や高次脳機能障害に関心を持ち、言語聴覚士を志しました。言語聴覚士として業務に携わってから2カ月程経過しましたが、目の前の業務を覚えるだけで精一杯な日々が続いております。まだまだ不慣れなことが多い毎日ですが、1日でも早く、かつ多くの知識や技術を習得し、経験を重ねていくことで、患者様により質の高いリハビリが提供できるよう、邁進していきたいと思っています。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



笛吹中央病院
リハビリテーション技術科

さくま かほ
佐久間香穂

こんにちは。地元の山梨県出身です。趣味は寺社巡り、ドライブ、音楽鑑賞です。入職して2ヶ月経ちますがまだまだ慣れないことが多く緊張の毎日です。プリセプターをはじめ、職場の先輩方に教えていただきながら患者様の笑顔を励みに頑張っております。患者様の利益につながるよう知識や技術を高め、努力していきたいと思っています。これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



山梨県立中央病院
リハビリテーション科

みやした ゆう
宮下由羽

私は富士吉田市出身です。出身校は帝京平成大学で言語聴覚士としての知識や技能を学び、地元である山梨の医療に携わりたいと思い山梨県に戻りました。入職して2か月、患者様と向き合いながら自身の知識不足を痛感しております。今後は先輩方から1つでも多くのことを学び、自身のスキルへとつなげていきたいと思っています。自分の判断やリハビリテーションに自信を持つことができるよう精進していきたいです。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



山梨県立ろう学校

ふじた しげみ
藤田芝圭美

3月に武蔵野大学大学院を卒業して、言語聴覚士の資格を取りました。ろう学校に教員として勤務しており、言語聴覚士としての技能を磨く機会が少ないので、積極的に研修等に参加していきたいと思っています。特に小児領域、聴覚領域に興味があります。将来的に、学校教育の中に、言語聴覚士の知識や技能を取り入れた実践をできる様になりたいと思っています。出身は甲府市ですが、現在は忍野村に住んでいます。どうぞ、よろしくお願い致します。



湯村温泉病院
リハビリテーション科

むとう あや
武藤安耶

今年度より湯村温泉病院に入職いたしました、武藤安耶と申します。新潟県の上越市出身です。大学は国際医療福祉大学に通っていました。新しい環境で慣れないこともあります。日々、経験豊かな先輩方から多くの事を学んでいます。言語聴覚士として今の自分に何ができるのかを常に考え、学んでいくなかで少しでも患者様の生活を支援できるよう未熟ではありますが、努力していきたいと思っています。よろしくお願い致します。



竜王リハビリテーション病院
リハビリテーション部

うえだ かずき
上田一希

はじめまして。大阪府出身で大学卒業までは関西で育ち、介護職として認知症の高齢者の方々に関わっている中でコミュニケーションへの支援に関心を持ったことから言語聴覚士の養成校に通い、現在に至ります。大学生の頃から旅行することが多く、特に山に囲まれた甲信地方の風景が好きで近いうちに移り住みたいと考えていたことから、山梨県内の就職を決めました。また、音楽鑑賞やピアノ・ギターの演奏が好きなので、これらも仕事に活かす事ができればと考えています。よろしくお願い致します。

三二講座

『高齢者の聴こえについて～補聴器の活用法～』

なかだて補聴器センター 代表 認定補聴器技能者 宮崎太郎

過日のセミナーには多数のご参加をいただきありがとうございました。土会の皆様方にはご承知のこと多かったかと存じますが、私自身も大変勉強になる機会をいただき感謝申し上げます。

『高齢者の聴こえについて～補聴器の活用法～』を簡単に振り返らせていただきます。



高齢期の難聴者は閾値低下だけでなく明瞭度の低下も多く、耳鳴りや認知症などをお持ちの場合もあります。補聴器が進化しても、ご購入までのコンサルティングや聴覚ケアの重要性をあらためて認識いたしました。

『補聴器の活用と装用者の声』では成功例と不適合例をご紹介しました。アンケートでの満足度は全体に高い一方で、補聴器使用をためらう場合や語音明瞭度悪化の方、正常聴力への回復を望む方が増加することもあり、今後も検討改善が必要です。

『補聴器の購入と機能』では購入までの流れと弊社のサービス、価格や機能をご説明しました。耳鼻科での受診を先ずはお勧めするとともに、補聴器の多彩な機能を紹介しました。最新補聴器はスマートフォンとの親和性が高く、高齢者の保有率も増加する今、様々な機能を上手に使いこなす方も増えております。

『高齢者への補聴器販売』では、どのぐらいの聴力で補聴器を作ったらよいのかをご紹介させていただきました。いずれの聴力であっても高齢者への補聴器販売では、ご家族との連携や様々な気遣いや配慮、そして何よりも信頼関係を結ぶことが重要です。2018 年からは購入前の補聴器相談医受診により医療費控除を受けられる制度が確立されました。また聴覚障害者だけでなく軽中等度児童への助成制度もすでに運用が始まっており、すべての難聴に悩む方への公的支援も充実してきました。

私ども認定補聴器技能者は言語聴覚士の皆様との連携のもと、これからも適正な補聴器供給を目指してまいりますので、今後ともご支援の程お願い申し上げます。最後に、本セミナーを主催いただきました『認知症対策推進委員会』の山田先生、運営スタッフ・ご参加の皆様にご心より御礼申し上げます。

第9回 理事会議事録

日 時：令和3年12月17日（水）19時00分～19時46分
出席理事：内山、赤池（三）、赤池（洋）、池神、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 災害時安否確認の質問項目の追加内容が決定した。

<報告事項>

2. ST協会20周年記念ホームページ作成に関する原稿を提出したことが報告された。
3. 第2回学術講演会、第2回小児領域勉強会の開催が報告された。
4. 第3回山梨県リハビリテーション専門職団体協議会理事会開催について報告された。
5. 日本言語聴覚士協会「言語聴覚の日」関連イベントへの投稿について報告された。
6. 山梨県東部・富士五湖での震度5弱における会員の安否確認結果、山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会研修会について報告された。
7. 生活期リハビリテーション研修会、PTOTSTバンク委託事業研修会：「家屋調査について」の開催が報告された。
8. 第8回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会「外出同行支援実習①」、第9回「外出同行支援実習②」の実施ならびに修了式について報告された。
9. 高校生一日リハビリテーション体験の開催について報告された。
10. ST協会代議員選挙に赤池洋副会長が当選したことが報告された。

第10回 理事会議事録

日 時：令和4年1月26日（水）19時00分～19時47分
出席理事：内山、赤池（三）、赤池（洋）、池神、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、元木、吉澤、河西

欠席理事：山田

<協議事項>

1. 災害時安否確認システム第3回予行演習を2月7～14日に開催することが決定した。
2. 令和4年度社員総会を令和4年5月20日（金）に開催することが決定した。

<報告事項>

1. 新卒者研修会の開催が報告された。
2. やまなし地域リハ・ケアの推進を考える会、山梨県民間病院協会PTOTST部会について報告された。
3. ニュースレター51号の校了と発刊予定、HP更新状況について報告された。
4. 「高齢者の聴こえについて～補聴器の活用法～」を開催したことが報告された。
5. 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業予定市町についての実施要綱確認、リハ協ニュース第24号への寄稿について報告された。
6. 高校生一日リハビリテーション体験参加者アンケートの結果が報告された。

第11回 理事会議事録

日 時：令和4年2月25日（金）19時00分～20時03分
出席理事：内山、赤池（三）、赤池（洋）、池神、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、元木、山田、吉澤、河西

<協議事項>

1. 県士会ニュース52号の企画案が決定した。今後は関連他団体や賛助会員へも執筆依頼していくこととなった。

<報告事項>

1. 第4回基礎講座、第3回学術講演会、新卒者研修会の開催が報告された。
2. 令和3年度介護職場人材育成研修、令和3年度インクルーシブ教育システム推進連携会議 合理的配慮部会、第12回甲府市在宅医療・介護連携推進会議、第17回山梨県民間病院協会学術研究会、今年度の渉外部員の活動について報告された。
3. 賛助会員へ令和4年度の広告画像データ提出を依頼したことが報告された。
4. ニュースレター51号発送作業、HP更新状況について報告された。
5. 令和3年度地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成研修会（初期研修）の開催が報告された。
6. 第11回「ふじやま」の定例会の開催中止が報告された。
7. 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について県と打ち合わせを行ったことが報告された。

第12回 理事会議事録

日 時：令和4年3月25日（金）19時00分～20時25分
出席理事：内山、赤池（三）、赤池（洋）、池神、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、中嶋、舟越、山田、吉澤、河西

欠席理事：元木

<報告事項>

1. 一般社団法人日本言語聴覚士協会創立20周年記念式典への出席、内山会長と赤池三紀子副会長が厚生労働大臣表彰を授与したことが報告された。
2. 新卒者研修会の全日程が終了し、修了証を送付したことが報告された。
3. 令和3年度山梨県リハビリテーション支援センター連絡会、フレイル予防推進事業（山梨県委託事業）、第4回山梨県リハビリテーション専門職団体協議会理事会、令和3年度山梨県地域包括ケア推進会議について報告された。
4. 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会令和3年度研修会の開催が報告された。
5. 「ふじやま」通信の号外を作成し、会員へ送付したことが報告された。
6. 失語症者向け意思疎通支援者スキルアップ研修会の開催が報告された。
7. 令和4年度活動計画案、予算案を検討した。

開催方法：オンライン会議

議 長：内山量史

書 記：坂井李菜、高橋里実、佐藤淳貴

議事録作成：河西祐子

《各局からのお知らせ》

事務局

＜総務部＞

- ・コロナ禍が続き、ほとんどの会議や研修会がオンライン開催となっています。事務局では Zoom ミーティングの設定や理事会の開催、各部局・関連他団体からの情報提供などを通して、今年度も充実した県士会活動が行えるよう努めていきたいと思ひます。
- ・ 6 月 20 日現在の正会員は 139 名(新入会 11 名、再入会 1 名含む)、賛助会員は 7 団体です。

＜財務部＞

- ・ 県士会活動は皆様の会費によって支えられています。年会費 10,000 円の納入につきましては、佐々木財務部長へ直接お届けいただくか、下記口座への振り込みをお願い致します。

金融機関名	山梨中央銀行
支店名 店番	石和支店 305
口座名 番号	普通 950758
名称	一般社団法人山梨県言語聴覚士会 シヤ・ヤマナシケンゲゴチヨウカケンカイ

今年度も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

学術局

- ・ 昨年度は学術局主催の講演会や研修会のご協力ありがとうございました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン中心の開催にはなりますが、より充実した内容の講演会・研修会を企画できるように努めてまいります。今後の予定に関しては決定次第、皆様に速やかにご連絡致しますので、よろしくお願い致します。ご参加の程よろしくお願い致します。

社会局

- ・ 渉外部、広報部、会報編集部・ホームページ管理部の 3 部体制で活動しています。

＜渉外部＞

- ・ 日本言語聴覚士協会や山梨県理学療法士会、山梨県作業療法士会、山梨県介護支援専門員協会などの他団体との連携や行政との連携・協力を行っています。また、今年度も「外来リハ・訪問リハ・訪問看護・通所リハ・通所介護に関する実態調査」を実施します。コロナ禍の厳しい環境下でも会員同士が一致団結し円滑な医療・介護連携を図り続けたいと考えていますのでご協力をお願い致します。

＜広報部＞

- ・ 一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図っていきます。今年度もコロナウイルス感染拡大防止のためにイベント活動に制限が出るかもしれませんが、出来る限り感染対策に努めて広報活動に参加していきたいと思ひます。また、イベント活動以外にも言語聴覚士の社会的認知度を高めていきたいと思ひます。

＜会報編集部・ホームページ管理部＞

- ・ 会報誌「県士会NEWS 52 号、53 号、54 号」の発行を行い、県士会活動だけでなく会員間のコミュニケーションツールとして、多岐にわたる情報を伝えて行きたいと思ひます。また、ホームページではより県士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように情報の収集・発信を推進していきます。

編集後記

新年度を迎え、私たちの周りは、ウクライナ危機、スタグフレーションなど、明るい話題が多いとは言えません。そんな暗い中でも、光が全くないわけではありません。紙面上で取り上げたように、患者様とのリハビリでは喜びや驚き、やりがいなど本当に多くのものを頂いているように感じます。光と影の両側面があるように、どんなに困難な状況でも、多角的なものの見方ができるよう、気持ちに余裕を持って進んでいきたいと思ひています。

今年度の会報編集・HP管理部の活動についても皆様からのご助言やご協力をよろしくお願い致します。

(桂川 謙祐)

令和 4 年度山梨県言語聴覚士会 会員所属病院・施設一覧

令和 4 年 6 月現在

【医療関係】

名称	所在地	電話	名称	所在地	電話
あけぼの医療福祉センター 療法科	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6111 Fax 0551-22-7890	巨摩共立病院 リハビリテーション室	400-0301 南アルプス市桃園 340	Tel 055-283-3131 Fax 055-282-5614
石和温泉病院 言語聴覚室	406-0023 笛吹市石和町八田 330-5	Tel 055-263-0111 Fax 055-263-0260	しもべ病院	409-2942 南巨摩郡身延町下部 1063	Tel 0556-36-1111 Fax 0556-36-1556
石和共立病院 入院リハビリテーション室	406-0035 笛吹市石和町広瀬 623	Tel 055-263-3131 Fax 055-263-3136	白根徳洲会病院 リハビリテーション科	400-0213 南アルプス市西野 2294-2	Tel 055-284-7711 Fax 055-284-7721
甲斐リハビリテーション クリニック	400-0117 甲斐市西八幡 3990	Tel 055-278-2016 Fax 055-278-2017	笛吹中央病院 リハビリテーション技術科	406-0032 笛吹市石和町四日市場 47-1	Tel 055-262-2185 Fax 055-262-5985
春日居サイバーナイフ・ リハビリ病院 言語療法科	406-0014 笛吹市春日居町国府 436	Tel 0553-26-4126 Fax 0553-26-4366	富士温泉病院	406-0004 笛吹市春日居町小松 1177	Tel 0553-26-3331 Fax 0553-26-3574
恵信甲府病院 リハビリテーション部	400-0814 甲府市上阿原町 338-1	Tel 055-223-7333 Fax 055-223-7337	富士吉田市立病院 リハビリテーション技術科	403-0032 富士吉田市上吉田東 7-11-1	Tel 0555-22-4111 Fax 0555-22-6995
恵信梨北リハビリテーショ ン病院 リハビリテーション室	400-0106 甲斐市双葉町岩森 1111	Tel 0551-28-8820 Fax 0551-28-8830	北杜市立塩川病院 リハビリテーション科	408-0114 北杜市須玉町藤田 773	Tel 0551-42-2221 Fax 0551-42-2992
健康科学大学 クリニック リハビリテーション課	401-0302 南都留郡富士河口湖町小立 2487	Tel 0555-73-2800 Fax 0555-73-2844	山梨市立牧丘病院	404-0013 山梨市牧丘町窪平 302-2	Tel 0553-35-2025 Fax 0553-35-4434
甲州リハビリテーション 病院 リハビリテーション部	406-0032 笛吹市石和町四日市場 2031	Tel 055-262-3121 Fax 055-262-3727	山梨県立中央病院 リハビリテーション科	400-8506 甲府市富士見 1-1-1	Tel 055-253-7111 Fax 055-253-8011
甲府共立診療所 小児リハ	400-0034 甲府市宝 1-10-5	Tel 055-221-1000 Fax 055-221-1011	山梨赤十字病院 リハビリテーション部	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1	Tel 0555-72-2222 Fax 0555-73-1385
甲府共立病院 リハビリテーション室	400-0034 甲府市宝 1-9-1	Tel 055-226-3131 Fax 055-226-9715	山梨大学医学部附属病院 リハビリテーション部	409-3898 中央市下河東 1110	Tel 055-273-1111 Fax 055-273-8372
甲府脳神経外科病院 リハビリテーション科	400-0805 甲府市酒折 1-16-18	Tel 055-235-0995 Fax 055-226-9521	山梨リハビリテーション病院 言語療法課	406-0004 笛吹市春日居町小松 855	Tel 0553-26-3030 Fax 0553-26-4569
甲府城南病院 言語聴覚療法科	400-0831 甲府市上町 753-1	Tel 055-241-5833 Fax 055-241-8660	湯村温泉病院 言語聴覚療法科	400-0073 甲府市湯村 3-3-4	Tel 055-251-6111 Fax 055-251-3579
国立病院機構甲府病院 リハビリテーション科	400-8533 甲府市天神町 11-35	Tel 055-253-6131 Fax 055-251-5597	竜王リハビリテーション病院 リハビリテーション部	400-0114 甲斐市万才 287	Tel 055-276-1155 Fax 055-279-1262

【介護・福祉・教育関係】

おおくに在宅ケアセンター おおくに訪問リハビリテーシ ョン	400-0053 山梨県甲府市大里町 5328	Tel 055-220-2555 Fax 055-220-2556	ツクイ甲府下飯田	400-0064 甲府市下飯田 2-12-17	Tel 055-230-2285 Fax 055-230-2287
合同会社むすぶ 放課後デイサービスむすぶ	400-0114 甲斐市万才 449	Tel 055-225-5217 Fax 055-225-5218	ノーサイドクリニック甲府教 室	400-0008 甲府市緑が丘 2-10-1 まごころ補聴器内	Tel 090-1201-4419 Fax 055-215-2401
介護老人保険施設ノイエス	409-3863 中巨摩郡昭和町河東 中島 443	Tel 055-275-1165 Fax 055-275-1161	訪問看護ステーション つゆき	400-0862 甲府市朝氣 3-18-5	Tel 055-223-1234 Fax 055-226-3387
介護老人保健施設 はまなす	401-0301 南都留郡富士河口湖町 船津 6901	Tel 0555-83-3285 Fax 0555-83-3286	富士・東部小児リハビリテーシ ョン診療所	401-0301 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1 富士ふれあいの村内	Tel 0555-72-8528
介護老人保健施設ひばり苑 リハビリテーション科	409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰 1277	Tel 055-275-9511 Fax 055-275-9512	山梨県立 あけぼの支援学校	407-0046 韮崎市旭町上條南割 3251-1	Tel 0551-22-6131 Fax 0551-22-6628
勝沼ナーシングセンター リハビリテーション部	409-1302 甲州市勝沼町菱山中平 4300	Tel 0553-44-5311 Fax 0553-44-5221	山梨県立聾学校	405-0016 山梨市大野 1009	Tel 0553-22-1378 Fax 0553-22-6419

在宅 HEALTH CARE FOOD 通信販売

病院で使われている医療・介護用食品をご家庭にお届けしています。

高栄養・やわらかい飲み込みやすいをサポート
はつらつ食品

**送料無料で
お送りします**

↑カタログのご請求はこちらからどうぞ↓

はつらつ食品カタログにはやわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

受付時間 月～土 9:00～17:00
(日・祝日は休業日となります)

ヘルシーネットワーク 検索

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-34-3
TEL 0120-236-977
FAX 0120-478-433

<https://www.healthynetwork.co.jp>

おかげさまで40周年

●認定補聴器技能者在籍
●補聴器の無料体験
●支援法補聴器取り扱い

写真：シグニア補聴器 スタイレット 充電式

**認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター**

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

Gジェントル スティム

リハビリテーションのための
新たな電気刺激装置

痛くない療法
感覚刺激
使いやすい

foodcare JAPAN TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

Platz プラッツ

STAND UP! 30th Anniversary

誤嚥リスクの低減

新しい背上げ
ハイバックサポート機能

ASPINO アスピーノ

医療・介護ベッドメーカー
株式会社プラッツ

■関東支店 / 関東ショールーム
〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1 TRCセンタービル7階
TEL: 03-5763-5425 FAX: 03-5763-5426
■福岡本社 ■北海道 ■宮城 ■東京 ■愛知 ■大阪 ■広島

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

Atos Breathing-Speaking-Living

株式会社アトスメディカルジャパン
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル 2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

Pepti-Sal Oral Health for Everyone

唾液のチカラで健康と笑顔を

デリケートなお口をやさしくケアし
お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは
「Peptide (ペプチド)」+「Saliva (唾液)」の造語。
唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

T&K ティーアンドケー株式会社 〒103-0012 東京都中央区日本橋區富町1-5-7
TEL 03-5640-0233 FAX 03-5640-0232

www.comfort-tk.co.jp

morinaga

消費者庁許可
えん下困難者用
とろみ調整用食品

つるりんこ Quickly

2018年度とろみ調整区分
(株)シード・プランニング調べ

飲み込みにくいと感じる方が、
安心しておいしく水分や栄養を摂取するために

0120-52-0050
受付時間：平日 9:30～17:00
(土日祝日・年末年始・5/1 除く)

森永乳業グループ病態栄養部門
株式会社 クリニコ

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内 山 量 史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP管理部

石 和 共 立 病 院 原 田 史 佳
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 志 摩 美 月
甲 府 城 南 病 院 秋 山 仁 哉・桂 川 謙 祐
河 村 有 美
湯 村 温 泉 病 院 高 木 建 汰
山 梨 大 学 医 学 部 附 属 病 院 赤 池 洋

<事務局> 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366

<発行日> 2022年7月1日 第52刊